

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	インカーネイトワード大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	College of Humanities, Arts, and Social Sciences		
報告書提出日	2019年9月8日		
留学予定期間	2019年8月～2020年5月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 225 (ドル) /合計

航空券代： 25万 (円) /合計

ビザ申請関連費： 160 (ドル) /合計

その他 ( ): ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？2200 (ドル) /合計

#### 〈事前の準備〉

3月半ばにアプリケーションガイド、寮やミールプランの案内が届きました。出願の時点で残高証明書が必要だったので、ビザ用と出願用の2枚を3月中に発行しました。また、髄膜炎の予防接種証明書が必要だったので、予防接種を受けました。4月末に大学から正式な受入許可証が届き、すぐにビザ申請書類の作成、5月中旬に大使館で面接をしました。面接から1週間ほどでビザが届き、寮、ミールプランの申し込みをしました。5月中に歯科検診、歯の治療を終わらせました。虫歯の治療は長引く可能性もあるので、できるだけ早く検診を予約するのがいいと思います。7月には日本語学習プログラムで来ていた現地の学生に会い、連絡先を交換しました。

#### 〈準備に関して困ったこと〉

寮の申し込みフォームが雑で、最後の申し込み完了までたどり着くことができず、到着まで本当に寮に入ることができるのか不安でした。しかし、記入できるところを埋めておけば大丈夫だったようです。また、クレジットカードを申請する際に、本人確認書類の不手際から、申請が通りカードが届くまでだいぶ時間がかかってしまい、出発ギリギリに届いたので、早めに申請することをお勧めします。

### 1.2. 渡航について

成田空港からシカゴ経由でサンアントニオに到着しました。トランジットは5時間あったのですが、入国審査で2時間弱ほどかかり、またターミナル間の移動にも時間がかかるので多めに見積もったほうが良いと思います。事前に飛行機の便名・到着時間を連絡し、出発の2,3日前に大学から迎えに来てくれ

るドライバーの写真、名前、電話番号が送られてきました。サンアントニオ空港は小さいのですぐドライバーの方と出会うことができました。空港から学校まで車で15分ほどで到着しました。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

到着後、国際センターに案内され、チェックインとして現地での電話番号や緊急連絡先などを書きました。寮への入居の時間はきまっていたので、到着当日は国際センターのゲストルームに案内されました。翌日、ゲストルームをチェックアウトし、寮の鍵を受け取り、案内されました。

私の寮はキッチン、2つのシャワールームを6人でシェアするタイプです。リビングルームからそれぞれの部屋に繋がっています。コンロやディッシュウォッシャーがありますが、電子レンジやポットはなかったもので、部屋のみんなで割り勘して買いました。

個人の部屋には机、棚、ベッド、マットレスしかなかったので入居してすぐに生活に必要なものを買いにいきました。洗濯機は無料で使えるので安心です。S字フックやハンガー型の防虫剤はアメリカに売っていないようなので日本から持っていくことをお勧めします。

### 2.2. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8月15日から25日までがオリエンテーション期間で、ほぼ毎日、生活用品をそろえるために買い物に行くバスが出ていました。また、サンアントニオの街に行く参加自由のツアーがあり、リバーウォークやファーマーズマーケット、モールに行きました。

8月20日に正規留学を含めた留学生全体のオリエンテーションがありました。このオリエンテーションで学内の各種サービス（writing&reading center や保健センター、ジムなど）や保険、授業変更したい場合の説明がありました。

参加必須のイベントは少ないですが、参加自由の様々なイベントに参加することで他の留学生と仲良くなれるので積極的に参加すると思います。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後のTOEICで750点を取ることが目標です。スピーキングが苦手なので、小さな話題に関心を持って、積極的に人と会話をしていきたいです。

また、留学中に日本語ボランティアなどに参加したいと考えています。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってから、語学力を上げるために国際センターで行っている留学前対策講座を受講しました。また、英語の幼児向けアニメをみたり、TEDトークをみたりしていました。英語だけの空間に抵抗はなくなりましたが、それぞれの言語の発音の特徴が入った英語や早口だと聞き取れないことがあります。また、授業だと専門的な単語もでてくるので理解に時間がかかり、発言もなかなかできません。語彙を増やしながらか、スピーキングを高めていきたいと思っています。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

授業で発言をする。

留学生以外の友達を作る。日本で知り合った現地の学生とも会いたいです。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Elementary Spanish(9:00-10:15), Social issues through Cinema(10:30-11:45)
火	Cultural Anthropology(12:00-13:15), Composition(15:00-16:15)
水	Elementary Spanish(9:00-10:15), Social issues through Cinema(10:30-11:45)
木	Cultural Anthropology(12:00-13:15), Composition(15:00-16:15)
金	Self-Defense(9:45-11:00)
土	
日	

### 4.2. 授業について

**Elementary Spanish** スペイン語の授業。学生のほとんどがスペイン語をすでに理解しているためスピードがかなり速いです。

**Social Issues through Cinema** 映画を通して社会問題についてディスカッションをします。

**Cultural Anthropology** 文化人類学の授業です。DNA や生活環境で人類がどのように変化してきたのかという内容を学んでいます。ほぼ毎回事前に読む課題があります。

**Composition I** 英語の文構造についての授業です。文法の基本的な知識や、エッセイを書く課題があります。

**Self-Defence** 体育の授業です。護身術を学んでいます。

### 4.3. 予習・復習・自習について

**Elementary Spanish** 初めてスペイン語を勉強しているので理解度が追い付かず、予習復習が欠かせません。わからないところがあれば、その場で先生に尋ねるか、ルームメイトのメキシコ人に聞いています。

**Social Issues through Cinema** 教科書の reading が事前課題です。量はかなり多いです。

**Cultural Anthropology** 事前資料をよく読んで、専門的な単語が多いので調べています。

**Composition I** 事前資料を読んでいます。

**Self-Defence** 特になし

今は事前課題や課題に手いっぱい復習までできていませんが、時間をみつけてやっていきたいと思っています。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>ほとんどの食事は学内のカフェテリアを利用していますが、飽きるので週に 1、2 度は友達と学校近くの日本食レストランやチャイニーズレストランを利用しています。また、日本食スーパーで日本の食料を調達したので自炊にもチャレンジしようと思っています。</p> <p>金曜や土曜の夜はルームメイトが人を呼んで夜中まで部屋がうるさかったりします。そういう時は静かにしてほしいことをはっきりと伝えています。</p>	

### 5.2. 課外活動について

<p>休日には学校のジムに行ったり、友達と買い物に出かけています。また、図書館で一緒に課題をしています。</p> <p>また、Asian Culture Club に所属しました。月に 1 度ほど、アジアのレストランにご飯を食べに行くそうです。日本に留学していたという学生もいました。</p>	
--	--

### 5.3. 現在までの感想

<p>寮生活では、やはりそれぞれ持っている文化が違うため、思ったことがあればはっきりという必要があると思いました。</p> <p>また、大人数での会話だと話のスピードが速く、理解するのに精いっぱいなかなか会話に混ざることができませんが、1対1だと自分のペースで会話できるので、臆さずにいろんな人に話しかけています。日本人は現在私しかいませんが、日本に興味を持っている人が話しかけてくれるので、楽しいです。日本人が知っている日本と外国人の知っている日本では微妙に違っていたりするので、話を聞いていて新たな発見があったりします。</p> <p>授業がわからないことがあったりして落ちこんでいるときに相談すると、同じような悩みをお互い抱えていたり、アドバイスをくれたりするので、自分の中に不安や悩みをため込まないことが留学生生活を快適に過ごすコツなのではないかと思いました。現にアメリカアマゾンのアカウントが住所登録ミスで凍結してしまい教科書が注文できずにいることを相談したら友達が代わりに注文してくれました。日々に助けてもらいながら生きています。</p>	
---	--

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (10月)

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	インカーネイトワード大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	College of Humanities, Arts, and Social Sciences		
報告書提出日	2019年 10月 29日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後の TOEIC で 750 点を取ることが目標です。スピーキングが苦手なので、小さな話題に関心を持って、積極的に人と会話をしていきたいです。

また、留学中に日本語ボランティアなどに参加したいと考えています。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

指名された問題には答えることができますが、自分の意見を言うことはできなかったため、自分の意見を述べるようになるのを目指しています。

日本語クラスでのボランティアや Asian Culture Club で現地の学生の知り合いが少しずつ増えてきました。学校の中だけの関係ではなく、遊びに出かける仲になれたらいいなと思います。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語が授業に追いつくのが精いっぱいなので、セクションごとにあるクイズで毎回 90 点以上を取る。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

**Elementary Spanish** 授業進度がとても速いです。セクション終了ごとにクイズがあります。テキスト内のアクティビティ中心に授業が進んでいます。中間テストは listening、文法、reading、writing、会話でした。

**Social Issues through Cinema** 授業内で映画や動画を見て、自分が社会学の観点から分析した内容を紙に書いて提出します。スケジュールの変更が多いです。

**Cultural Anthropology** 文化人類学の授業です。月に 1 回、テストとエッセイの提出があります。現在は経済活動について学んでいます。

**Composition I** 基本的に授業内でエッセイの課題を進めています。単語の仕組みを授業内で説明されたり、間違っている文構造を直すアクティビティがあります。

Self-Defence 護身術の授業です。様々なパンチの技を学んでいます。

## 2.2. 予習・復習・自習について

**Elementary Spanish** 授業内でほとんど文法の説明がされないため、自分で復習ノートをつくって勉強しています。

**Social Issues through Cinema** 事前の Reading 課題があります。授業内でみた映像の理解を深めるために、映画のあらすじを調べたり、YouTube や Netflix でもう一度映像を見ています。

**Cultural Anthropology Reading** 課題があります。テストでは用語の意味を問われるので、流れを理解するようにしています。

**Composition I reading** 課題が多く、読むのに時間がかかります。エッセイは、下書きの時点で先生に添削していただいてから、清書を提出しています。

Self-Defence 特になし。

## 2.3. 語学力について

1対1での会話には慣れてきましたが、大人数での会話だとやはりスピードが速く、話題転換も早いので、会話に混ざれないことが多々あります。

授業の課題で reading が大量に課されますが、理解するのに時間がかかります。まず、英文を読むことに慣れようと、簡単な子供向けの本を読み始めようかと検討中です。

現地で働いている日本人の方に、留学生とばかり話していると訛りがあったり、簡単な単語ばかりで会話してしまうから現地の学生と会話した方が語学力は伸びるといわれたので、留学生と一緒にいることが多くなってしまいがちですが、現地の学生との交流を積極的にしていきたいと思いました。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他: )
----	-------------

カフェテリアの食事が口に合わないため、週に2,3回は自炊をしています。カフェテリアで出るお米は日本米ではないので、先日スーパーで日本米に近いコメを買い、鍋で炊きました。レトルトのタイプもこちらで買えますが、自分で炊いたほうがコストパフォーマンスが高いと思います。

10月に入ってから、徐々に涼しくなっており、時々急に寒くなる日があります。9月に秋・冬用の服を買おうとモールに行きましたが、サンアントニオのモールにはまだ冬服はあまりありませんでした。10月ごろから品ぞろえが増えてきましたが、長袖のシャツ1,2枚は急に寒くなったときに備えて持ってくると思います。

### 3.2. 課外活動について

休日は買い物に行くことが多いです。車がないとどこにもいけないようなところなので、Uberを手配して買い物にいきます。

Asian Culture Club に所属し、先日日本についてのプレゼンと日本のお菓子を振舞いました。

また、日本語クラスのチューターをボランティアでやっています。来年の夏休みに神奈川大学に留学に来る学生にも会いました。先生の説明を聞いているだけでも、英語で日本語の説明をどのようにすればいいかがわかるのでとても勉強になります。

秋休みにはニューヨークへ旅行しにいきました。

### 3.3. 現在までの感想

授業料、寮費などの支払いに関して、インカーネイトワード大学は銀行口座開設を義務付けておらず、私は現地の銀行口座を作っていなかったため、クレジットカードで支払いをしていたのですが、カードが上限に達してしまい、支払いができない、というトラブルが起きました。限度額を引き上げることで解決したのですが、こういった問題を避けるためにも、たとえ義務付けられていなくても、銀行口座を開設したほうが良いと思いました。また、海外のクレジットカードは作れないと思っていたのですが、口座を作るとクレジットカードが作れるようです。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	4 年次
派遣先大学 (国)	インカーネイトワード大学 (アメリカ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	College of Humanities, Arts, and Social Sciences	履修言語	英語	
留学期間	2019年8月～2020年5月			
報告書提出日	2020年6月7日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
8月26日 ～12月6日 (14週)	12月7日 ～12月13日	国際センターからアプリケーションガイドが届いた際に履修についての案内があり、それに従って履修計画を立て、7月にメールで <b>Course Registration Form</b> を提出しました。授業が始まって1週間はアドバイザーと相談して履修登録を削除できます。
1月13日 ～5月1日 (14週)	5月2日 ～5月8日	11月に来学期の履修登録があり、その前にアドバイザーと面談があります。その後、履修計画をたててアドバイザーのサインをもらい、履修登録は専用のサイトを使って自分で行いました。登録をするのにパスワードが必要でアドバイザーから教えてもらう必要があります。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Elementary Spanish I	35時間	月曜日と水曜日に75分の授業があり、授業の中心は会話と教科書の問題演習でした。課題は教科書付属のドリルを解きますが、チャプターごとに約10ページほどの文法・リスニング・ライティング・リーディングをやりました。課題の内容から小テストがあります。時々、ドリルのほかにグループでプレゼンテーションをすることもありました。中間試験・期末試験は筆記と会話がありました。
		1.25(時間/ 回) × 2(回/週) × 14(週)	



Fall Semester	Social Issues through Cinema	35 時間	月曜日と水曜日に 75 分の授業があり、授業内で映画を見て、どんな社会学の要素が含まれているか分析する授業でした。課題は教科書のリーディングと、映画の分析内容を紙に書いてまとめるというものでした。中間試験・期末試験はマーク形式のテストと短いエッセイ、自分で選んだ映画にどのような社会学要素があるのかというプレゼンテーションがありました。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Fall Semester	Cultural Anthropology	35 時間	火曜日と木曜日に 75 分の授業がありました。文化人類学の授業で、文明の段階についてや、少数民族の通過儀礼についてなどを扱っています。事前課題として論文を読みます。月に1度テストと授業の内容と関連した1ページほどのレポートの提出、期末試験があります。試験の内容は授業で出てきた用語を確認するものが多かったです。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Fall Semester	Composition I	35 時間	火曜日と木曜日に 75 分の授業がありました。英語の構造に関する授業で、各授業の冒頭に英文の間違いを直すクイズと英単語の意味と成り立ちを学びます。課題はレポートで、授業中に課題を進めることが多かったです。中間・期末は短いエッセイを3本読んで内容を要約して提出するものと、英語の間違いを直すクイズのまとめでした。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Fall Semester	Self-Defense	17.5 時間	金曜日に 75 分の授業がありました。空手の技を使った護身術の授業でした。授業内容は先生のお手本を見てから、ペアで練習するもので、パンチやキックの練習が多かったです。期末試験は実技試験とマーク形式の二択問題がありました。
		1.25(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Spring Semester	Introduction to Sociology	35 時間	月曜日と水曜日に 75 分の授業がありました。社会学の基礎となる授業で、講義形式です。授業内容は文化、階級などのトピックについて学びます。授業内にグループワークがありました。課題は毎週トピックと自分の経験を関連させたレポート、教科書のワークショップを行うものがありました。中間試験と期末試験はオンラインで行うテストとレポートの提出でした。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Spring Semester	Elementary French II	35 時間	月曜日と水曜日に 75 分の授業がありました。基礎のフランス語の授業です。語学はIの単位を取っていないとIIの授業を受けられませんが、日本でフランス語を取っていたので受けることができました。授業内容は、現在形、疑問詞、複合過去などでした。時々小テストがあります。中間試験と期末試験は筆記と会話がありました。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	

Spring Semester	Topics in Asian History	35 時間	火曜日と木曜日に 75 分の授業がありました。江戸時代以降の日本史の授業です。事前に教科書のリーディングがあり、それを受けてのディスカッションが多かったです。授業内に映画や動画を観ることもありました。中間試験は複数ある問題から 2 つ選んで書くレポートでした。期末試験はグループプレゼンテーションでした。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
Spring Semester	Design for Photographers	35 時間	火曜日と木曜日に 75 分の授業がありました。光や色、構図など写真の構成について学ぶ授業です。1 つのトピックに関して、先生からのレクチャー、シューティング、プレゼンテーションがありました。課題は写真を撮影して提出するもので、毎回先生からのフィードバックがあります。中間試験、期末試験は特にありませんでした。
		1.25(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

どの授業も事前課題が多い印象がありました。そのため、予習で手いっぱいになり、小テストや中間、期末試験の前に復習することがほとんどでしたが、授業が始まる前に前回の授業のノートを見直すようにしていました。事前課題は、事前に授業で扱うトピックに関する論文がほとんどでした。論文は専門的な単語が多いのでその都度単語を調べましたが、熟読するのではなく、内容を簡単に理解する程度で読んでいました。論文からテストを出題する授業もあったので、試験前に読み返していました。語学系の授業は、予習よりも復習に力を入れ、自分でまとめのノートを作っていました。チャプターごとに課題の提出と小テストがあったので毎日少しずつ勉強することを心がけていました。単語は発音して耳で覚えるように意識していました。図書館は自習するのに十分な環境が整っていたので、空きコマや授業後はほぼ毎日図書館で勉強するように習慣づけていました。普段はあまり人がいませんが、中間試験や期末試験の直前は込み合っている印象がありました。

### 1.4. 語学力について

#### 〈留学前〉

派遣交換留学に出願する前に受験した TOEIC のスコアは 675 点でした。留学が決まってからは、子供向けのアニメや TED トークを利用して英語に耳を慣らすことを意識していました。また、学内の留学プログラム対策講座や国際センターが開催するイベントに積極的に参加して英語を話す機会を増やしました。

#### 〈留学してからの成果〉

日本からの留学生がいなかったこともあり、英語で生活できることができました。韓国とメキシコからの留学生が多く、同じ母語の人で固まっていることが多く見受けられたので、自分にとっては 1 人でよかったですと感じています。はじめはそれぞれの国のイントネーションが入った英語を聞き取ることに苦労しましたが、徐々に慣れていきました。電話やバスや電車など交通機関でのアナウンスを聞き取ることは苦労しました。電話では何回も聞き返すことがありました。

〈留学中の取り組み〉

大学内で働いていた日本人の方に「留学生と話してばかりだと簡単な単語しか使わず、単語や覚えられないし変な訛りもついてしまう」とアドバイスを受けたので、現地の学生とも会話することも心がけました。わからない単語を聞くことは勇気がいりますが、聞けば相手も説明してくれるので、会話の内容がわからず黙っているよりは断然いいです。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

国際文化交流学科ということもあり、語学や人類学系の授業をメインに受講していました。特に Cultural Anthropology の授業は、文化交流論の授業ととても似ていると感じました。時々聞いたことのある話や、日本語で読んだことのある論文が英語で課題に出たりと日本で学んでいたこととリンクさせることができました。日本で受けていた授業とは扱っている民族の事例が異なっていたので、さらに広い知識を得ることができました。

言語系の授業では、スペイン語とフランス語を受けていました。英語と似ている言語ということもあり、英語で授業を受けることで双方の言語の理解が深まったと思います。日本でフランス語を取っていたのですが、新たにスペイン語を勉強したことでフランス語との共通点も理解することができました。アメリカはヒスパニック系の人口が多いこともあり、言語表示は英語とスペイン語がほとんどですが、そこでスペイン語と英語を関連させて単語を覚えていました。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

日本史の授業を取っていたので、よく授業中にそのトピックについて聞かれることがありました。しかし、聞かれたことに対して何とさえいいのかわからないことが多くあり、いかに高校時代に勉強していた日本史は大学受験のための勉強だったかを痛感しました。日本の宗教については八百万の神、ということも多くの人が説明できるかと思いますが、成り立ちまで説明できる人はなかなかいないと思います。特に、古事記については学校では習わないような内容なので、予備知識として軽く知っておいたらよかったですと思いました。

授業全般のアドバイスとしては、アメリカの学生は授業の際にパソコンやタブレットを使用する人が多いですが、電子辞書を使いたい場合には、授業中やテストの際に電子辞書を使っていいか確認を取ったほうが良いと思います。テストの問題文でもわからない単語が含まれていることがよくありました。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

ボランティアで日本語の授業のチューターをしていました。基本的に質問の対応や書いた文章の添削といった、授業内の先生のサポートをしていましたが、時々日本の文化についてのプレゼンテーションも行いました。また、大学内の旧正月イベントの時にアジアの民族衣装のファッションショーがあり、浴衣を着ました。日本人が他にいないということもあり、日本について様々なことを聞かれる機会が多く、知らないことを聞かれて答えられないときのプレッシャーがとてもありました。しかし、海外の人がどのような日本のことに興味があるのかを知るいい機会になったと思います。

旅行業界への就職を希望しているので、旅行にたくさん行くことを心がけました。初めて航空券やホテルの手配をすべて自分でやり、旅行したことは将来に役立つのではないのかと思います。

## 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

### 〈食事について〉

寮に住む人は必ずカフェテリアの契約をしなければいけないのですが、どの程度自炊ができるのかわからなかったため、週にカフェテリアを使える回数が多いプランを選びました。前半はなるべくカフェテリアでご飯を食べるようにしていましたが、カフェテリアの食事があまり口に合わず、飽きてしまったので、後半は寮のキッチンで作ってご飯を食べるもののほうが多くなりました。プランにはカフェテリアを使える回数以外にも、学内の売店やカフェで使えるミールポイントが付いていて、ポイントを使ってカフェテリアを使うこともできるので、1番低いプランを選ぶのがよいと思います。なお、プランは学期ごとに選ぶことができますが、学期が始まった後は変更することができませんでした。

また、寮によってキッチンについている備品が異なるようで、私の寮には電子レンジがありませんでした。

### 〈洗濯について〉

洗濯機・乾燥機ともに無料で使えます。アメリカの洗濯機は日本のものと比べてパワフルで服が傷みやすく型崩れしやすいと聞いていたので、洗濯ネットを持参しました。私は持っていきませんでしたが、乾燥機にかけたくないものがある場合は濡れた服を部屋で干す用のピンチハンガーがあると便利だと思います。

### 〈移動手段について〉

電車は通っておらず、主要公共交通機関はバスです。バスに無料で乗れるパスがサンアントニオのバス会社のアプリ上でもらえます。しかし、バスで行ける場所も限られており、モールに行く場合は乗り換えが必要で時間がかかりますが、ダウンタウンには学校から乗り換えなしで行くことができます。

Uber と Lyft は配車アプリで、乗車場所と目的地を選択するだけで乗ることができます。カードとアプリの紐づけが必要ですが、事前に料金がわかり、チップのやり取りもアプリ上ですることができます。タクシーよりも料金が安いです。どちらも10分くらいでドライバーが迎えに来てくれます。金額は時間などによって変動するので、Uber と Lyft で料金を比べて安いほうに乗る、という使い分け方がおすすめです。

### 〈確定申告について〉

アメリカでは、全員に確定申告が義務づけられており、留学生で収入がない場合でも例外ではありません。UIW では、国際センターが留学生向けにガイダンスや専門家を呼んでの相談会などを行っています。収入がない場合は、非居住者扱いであることを証明する Form 8843 という書類を作成して IRS というところに提出します。Form 8843 を作成するには、Sprintax という専用のソフトが必要ですが、国際センターが割引コードを持っているので、先着順ですが無料で使用することができます。一見難しそうに感じるかもしれませんが、DS2019 とパスポートの情報を記入するだけで簡単に作成することができます。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月25日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	インカーネイトワード大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本学での所属	外国語学部	国際文化交流学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	4年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年5月	
	留学期間 10ヶ月間	

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 6 )
3	住居形態の詳細を教えてください。	( ルームメイト6人でキッチンと2つのバスルームのシェア。私のルームメイトはほぼ留学生だったので、学期ごとに変わりましたが、秋学期は韓国人3人、香港人1人、メキシコ人1人、春学期は韓国人3人、アメリカ人2人でした。5LDKで、1つの部屋は2人部屋で残りの部屋は1人部屋でした。1人部屋も2人部屋も過ごすのに十分なスペースがあります。 )
4	入居時手続き	(Housing Officeで申込書を記入して寮の鍵をもらう )
5	費用(月額)	( 99000 )円
6	食費(月額)	<input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他( )円
7	支払方法	(学期ごとにクレジットカードで3~4分割払い )
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他( )
10	周囲環境	(大学の隣にオーガニックスーパー、ドラッグストア、郵便局があります(寮からだ徒歩15分くらいかかります)。スーパーがある通りにお店があり、カフェやパン屋、日本食レストランもあります。バス停が大学前に2つあり、路線によって場所が違います。バスでリバーウォークのあるダウントウン方面モールに行くことができます。 )
11	アクセス	(大学からアカウントが発行されるので、バスは無料で乗ることができます。ダウントウンまではバスで15分くらい、モールまでは乗り換え時間を含めないで30分くらいで行けます。 )
12	留学中の住居に関してアドバイス	(寮の種類がたくさんあり、2人部屋しかない寮やコミュニティキッチンの寮もあれば、シャワー・トイレも完全に個室のものもあります。たくさん人と交流したいのであれば2人部屋、パーソナルな空間が欲しければ1人部屋など、自分に合った寮を選ぶといいと思います。 )

## II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	購入しなかった
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	( 国際センターでお勧めされた SIM カードを日本で購入しました。購入用紙を FAX で送信して、自宅に SIM カードが郵送されて届きました。 )
4	自宅のインターネット接続環境	無線 ( 大学または寮への LAN 接続 )
5	大学内インターネット接続環境	無線 ( 大学または寮への LAN 接続 )

## III. 留学費用について

諸経費 ( 1 ヶ月の平均 )		
1	1 宿舍費	990 (ドル)/月
2	2 食費	500 (ドル)/月
3	3 交通費	10 (ドル)/月
4	4 通信費	50 (ドル)/月
5	5 娯楽費	30 (ドル)/月
6	6 図書費	(ドル)/月
7	7 学用品 (教科書など)	10 (ドル)/月
8	8 被服費	60 (ドル)/月
9	9 医療費	(ドル)/月
10	10 雑費・その他	(ドル)/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳 ( 留学準備期間含む )		
11	11 出願料・宿舍デポジット	225 (ドル)/月
12	12 ビザ申請関連費	380 (ドル)/月
13	13 航空券代 ( 休暇時旅行費用は除く )	253, 280 (ドル)/月
14	14 その他	20, 000 (ドル)/月 備考 ( 髄膜炎予防接種 )
15	15 留学全日程に要した総額 ( 概算 )	2, 000, 000 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 ( 渡航時 : 80, 000 円 ) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード ( 銀行名 : ) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他 ( )	
17	17 現地で銀行口座開設	していない
18	18 お金に関するアドバイス	私は現地で口座を開きませんでした。したほうが便利だと思います。口座を開くと現地のクレジットカードを作ることができ、また口座間でのやり取りをアプリ上でできるので、友達と割り勘するときなどに便利そうでした。ほとんどの支払いがクレジットカードになるので、手数料の点においても作ると思います。通販サイトの中には、アメリカのクレジットカード以外が使えないものもあり、不便を感じました。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	C19 (10か月分で113,020円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参の方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	基本的な風邪薬やアレルギー薬、痛み止めなど。アメリカの市販薬は日本人には強いと聞いていたので、買うのは怖いと思うから。

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	衣類、生理用品、化粧品、文具、電子辞書、ヘアアイロン、ドライヤー
2	現地で購入したもの
	寝具、調味料など食品類、調理道具、衣類、教材
3	(自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの
	和食の調味料やレンジでお米がたけるもの

#### VI. 留学先で困ったこと

学校への支払いもクレジットカードで行っていたので、限度額を引き上げるのに日本へ電話しなくてはならず、SIMカードは国際電話が無制限というプランでよかったものの、大変でした。

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

派遣留学で行ける他のアメリカ国内の大学は、語学学校に通い英語を学ぶことがメインのところが多いため、日本人やその他アジアからの留学生も多く母国語が同じもの同士で固まってしまうことが多いと聞きます。ですが、インカーネイトワード大学では、現地の学生と一緒に授業を受け、さらに、多くの国から留学生を受け入れており、様々な国からの留学生と交流できるほか、アメリカ、テキサス州という立地もあり、ヒスパニック系の学生が多く、今まで抱いていた「アメリカ」のイメージ像をいい意味で打ち砕くことができます。私の年は、私しか日本人の交換留学生がいまませんでした。ほぼ日本人がいない環境で嫌になることも度々ありますが、自分1人しかいないからこそ、成長できることがたくさんあります。

